

**合 併 協 定 調 印 式
会 議 録**

平成16年2月19日

川薩地区法定合併協議会

合併協定調印式会議録

開催年月日 平成16年2月19日(木)

開催場所 ホテル太陽パレス(川内市)

開 会 午後2時

閉 会 午後2時50分

川薩地区法定合併協議会会長及び委員

合併協定調印者 川内市長 森 卓 郎

樋脇町長 黒 瀬 一 郎

入来町長 福 元 忠 一

東郷町長 森 園 正 堂

祁答院町長 今 村 松 男

里 村 長 塩 田 至

上甑村長 藏 元 欽一郎

下甑村長 町 弘 道

鹿島村長 尾 崎 嗣 徳

立会人 今別府 哲 矢 岩 切 秀 雄 岩 下 早 人

田 中 憲 夫 今 村 妙 子 帯 田 博 美

宮 脇 秀 隆 田 島 春 良 中 島 増 夫

宮 元 泰 子 山 本 佐 敏 石 塚 政 揮

上 野 一 誠 田 島 忠 志 吹 田 紘 男

北 迫 茂 和 田 国 昭 古 里 貞 義

山 元 温 治 田 原 八 工 里 永 十 藏

村 原 政 和 肥 後 耕 作 川 畑 禮 二

平 林 徳 子 平 嶺 道 夫 鷺 山 和 平

外 園 加 一 純 浦 勝 志 山 下 廣 江

中 能 重 行 長 濱 秀 徳 大 良 影 夫

西 仙 可 石 原 弘 子 中 川 三 継

西 手 正 孝 宮 和 勇 日 笠 山 直 宏

宮 野 イネ子 塩 釜 三 郎 中 野 捷

橋 野 利 邦 小 村 庄 昌 田 中 永 子

特別立会人 鹿児島県知事 須 賀 龍 郎

来 賓 参議院議員 森 山 裕
衆議院議員 松 下 忠 洋（代理人 青崎後援会事務局）
衆議院議員 宮 路 和 明（代理人 下麥川内後援会事務所長）
参議院議員 尾 辻 秀 久（代理人 浜川事務所長）
参議院議員 加治屋 義 人（代理人 牛根事務所長）
鹿児島県議会議員 山 本 求 之
鹿児島県議会議員 鶴 蘭 真佐彦
鹿児島県議会議員 福 山 秀 光
鹿児島県議会議員 外 蘭 勝 蔵

顧 問 西中須 浩 一 馬 場 俊 秀
監査委員 中 村 昌 弘
幹事等 福 留 久 根 平 敏 孝 上 戸 建 次
岩 下 晃 治 新 武 博 木 原 研 一
本 田 憲 證 村 尾 光 政 岩 下 満 志
今 吉 俊 郎 内 金 雄 水 流 信 雄
知 敷 憲 一 郎 平 嶺 休 丸 柳 忠 喜
橋 口 正 治 橋 野 克 秀 桑 原 道 男

オブザーバー 上 蘭 辰 郎

まちづくりフォーラム代表 中 俣 知 大

関係市町村職員及び一部事務組合等出席

関係市町村議会議員出席

川薩地区法定合併協議会事務局

会次第

- 1．開 会
- 2．合併協定調印に至る経過報告
- 3．合併協定調印
- 4．立会人署名
- 5．合併協議会会長あいさつ
- 6．来賓紹介
- 7．来賓祝辞
- 8．閉 会

進行（川野眞司事務局次長）

まもなく調印式を始めますが、携帯電話をお持ちの方は、電源を切られるかマナーモードにさせていただくようお願いいたします。

また、マスコミ関係者の皆様並びに各市町村の広報担当者の皆様をお願いいたします。調印式の円滑な進行のため調印席の前方への立入りは、ご案内いたしますまで、ご遠慮くださいますようお願いいたします。調印後の写真撮影につきましては、式の途中で設定いたします。後ほど、説明・ご案内いたしますので、よろしくをお願いいたします。

進行（川野眞司事務局次長）

それでは、ただいまから川薩地区法定合併協議会を構成します、川内市、樋脇町、入来町、東郷町、祁答院町、里村、上甑村、下甑村及び鹿島村の合併協定調印式を執り行います。

私は、本日の式典の進行を務めさせていただきます、合併協議会事務局の川野と申します。よろしくをお願いいたします。

まず調印に先立ちまして、本日の合併協定の調印に至るまでの経過及び合併協定書の説明を、田中事務局長が報告申し上げます。

田中良二事務局長

川薩地区法定合併協議会の集大成としまして、合併協定 46 項目が承認され、協議が終了したことを確認するため、本日の合併協定調印式が挙行される運びとなりました。これまでの経過概要について、ご報告いたします。

お手元の資料で、大きな文字で合併協定書と書かれた資料を開いていただきますと、左のページが、番号 1、合併の方式など基本 4 項目、事務事業一元化項目、番号 24 の新市まちづくり計画など、46 項目の一覧となっております。

そして合併協定書といたしまして、1 ページの 1、合併の方式から 19 ページまで、各項目の調整方針を記載してございます。

また、本日、市町村長の皆様の調印と署名につきましては、合併協定書の 20 ページから 21 ページ、特別立会人の須賀県知事の署名欄におきましては 22 ページの最上段、法定協会の委員である 45 名の立会人の皆様の署名は 22 ページの 2 段目から 30 ページまでとなっております。

それからお手元の資料の青い表紙で、薩摩川内市となる 9 市町村の地図が書かれております、合併協定調印紙のリーフレットをお開き下さい。青い資料でございます。

左のページは、本日の式次第ですが、右のページが合併協定調印までの経過でございます。

一番上の欄の平成 15 年 7 月 10 日に本法定協を設置し、第 1 回会議から本日まで、合併

協定項目の全てについて協議を続けてまいりました。本日までの8ヶ月間に渡り、ご覧いただいておりますとおり、法定協開催は毎月2回開催のペースで延べ15回、市町村長調整会議を12回、幹事会を16回、新市名称等検討小委員会を8回開催しております。

また、資料の一番下に記載してありますとおり、事務レベルの専門部会、分科会におきましては、膨大な事務作業とおびただしい会議と合意の積み重ねにより、本日2月19日の法定協で、46項目の合併協定項目が全て承認され、まもなく調印と署名をいただくこととなります。

なお、昨年7月10日の設置に至るまでの経過としては、資料に記載してございますけれども、それ以前の経過を簡単に口頭でご報告いたします。

ちょうど3年前、平成13年2月、2市8町4村の助役、部課長による、市町村合併に関する情報交換会による検討。平成14年3月26日、2市4町4村の課長級によります、合併問題勉強会の設置と研究。平成14年10月7日、2市4町4村で川西薩地区任意合併協議会の設置と基本4項目の協議開始。平成14年12月25日、県内トップを切りまして、2市4町3村で川西薩地区法定合併協議会の設置。そして昨年平成15年7月10日、川西薩地区法定協の一旦休止と合併の先行協議と復元方式の採用。そして同日7月10日に1市4町4村で本協議会の設置と併せまして、川西薩地区法定協から協議内容の原則承継という変遷を経ております。

また、経過に返りまして、基本4項目の決め方といたしまして、平成15年7月10日、第1回協議会で、合併の方式は新設対等合併、合併の期日は平成16年10月12日、新市の事務所、本庁の位置は現在の川内市役所の位置とすることが、提案、承認されました。

新市の名称につきましては、8月12日、第3回協議会で、公募方法等の承認をいただき、8月25日から9月25日まで公募を行いました。そして10月14日の第5回新市名称等検討小委員会で、全国から応募のありました9,490件、2,553種類の中から、厳正、公正な選定により21点を選定し、さらに11月17日の第7回小委員会で5点に絞り込んでいただきました。そして12月24日、第12回協議会におきまして、漢字表記の「薩摩川内市」に決定しております。

最後に、住民の皆様と広報・広聴の関わりにつきましては、本法定協におきましては、提案から承認までを2ヶ月間を設定する中で、各市町村の広報紙と連携して、協議会日より、ホームページ等で、内容の周知と合併の関心の喚起に努めました。

また、新市まちづくり計画の策定におきましては、各市町村の住民代表からなります、まちづくりフォーラムから貴重な提言をいただき、これを基に素案を作成し、計画内容に反映しております。

昨年8月から9月には、まちづくり広聴会を52会場で、本年1月と2月には、住民説明会を62会場で開催し、延べ6,182名の住民の皆様のご参加をいただき、幅広く、また直接的な広報・広聴活動をして、本日の合併協定調印式に至っております。

以上で、合併協定調印までの経過のご報告といたします。ありがとうございました。

進行（川野眞司事務局次長）

それでは、これより合併協定書への調印を執り行います。ここで調印の流れを申し上げます。

まずはじめに、9市町村長の皆様に、お一人お一人、署名、押印をしていただきます。次に特別立会人としてご臨席の鹿児島県知事、須賀龍郎様にご署名いただきます。その後、須賀知事から、9市町村長を代表いたしまして、当協議会会長でございます森川内市長へ、合併協定書を手渡していただきます。

そして、舞台上で知事を中心にいたしまして、各市町村長の皆様で固い握手をしていただくという予定でございます。

協定書の内容につきましては、本日の資料をご参照下さるようお願いいたします。

それでは、9市町村長の皆様は、合併協定書への調印をお願いいたします。

まずはじめに、森卓朗川内市長、お願いいたします。

（森卓朗川内市長 署名・押印）

続きまして、黒瀬一郎樋脇町長、お願いいたします。

（黒瀬一郎樋脇町長 署名・押印）

続きまして、福元忠一入来町長、お願いいたします。

（福元忠一入来町長 署名・押印）

続きまして、森藺正堂東郷町長、お願いいたします。

（森藺正堂東郷町長 署名・押印）

続きまして、今村松男祁答院町長、お願いいたします。

（今村松男祁答院町長 署名・押印）

続きまして、塩田至里村長、お願いいたします。

（塩田至里村長 署名・押印）

続きまして、藏元欽一郎上甑村長、お願いいたします。

（藏元欽一郎上甑村長 署名・押印）

続きまして、町弘道下甑村長、お願いいたします。

（町弘道下甑村長 署名・押印）

最後に、尾崎嗣徳鹿島村長、お願いいたします。

（尾崎嗣徳鹿島村長 署名・押印）

皆様、ありがとうございました。

以上で、9市町村長によります、署名、押印が終わりました。皆様、盛大な拍手をお願いいたします。

（拍手あり）

続きまして、これまで合併協議会委員としてご尽力を賜りました、協議会委員 45 名の皆様の立会人としてのご署名になりますが、会の進行の都合上、立会人の皆様のご署名につきましては、事前にいただいておりますことを、ご報告申し上げます。

本日、お渡ししました資料の中に、合併協定書へご署名いただきました皆様の名簿がございますので、ご覧下さい。

川内市の岩切助役から、鹿島村の田中永子委員まで、45 名全員の皆様から立会人署名をいただいております。ありがとうございました。皆様、再度拍手をお願いいたします。

(拍手あり)

続きまして、本日の調印式に特別立会人としてご臨席をいただいております、鹿児島県知事、須賀龍郎様に、ご署名をお願いいたします。

(須賀龍郎鹿児島県知事 署名)

ご署名、ありがとうございました。皆様、拍手をお願いいたします。

(拍手あり)

それでは、ここで合併協定書を、鹿児島県知事、須賀龍郎様から、9 市町村長を代表しまして、森卓朗川内市長にお渡しいただきたいと存じます。須賀知事、そして森市長には、調印席の前方の中央にお進み下さるよう、お願いいたします。

恐れ入りますが、市町村長の皆様は、ご起立をお願いいたします。

(調印席前で調印書の受取り)

それでは、合併協定調印書をお渡しいただきたいと思えます。皆様、盛大な拍手をお願いいたします。

(拍手あり)

ありがとうございました。

正に、当地域におきます、新しい歴史の幕開けとなる一瞬でございます。

須賀知事、森市長には、ご自席にお戻り下さいますように、お願いいたします。

では皆様、ご着席下さい。

次に、須賀知事を中心に、市町村長の皆様で、固い握手をしていただきたいと思えます。須賀知事、市町村長の皆様は、後方の舞台へのご移動をお願いいたします。

(須賀知事・森会長を中心にして整列)

報道関係の皆様には、しばらく舞台前方への立ち入りをお待ち下さるよう、お願いいたします。写真撮影のタイミングにつきましては、間もなくご案内いたします。

会場の皆様には、準備が整いますまで、しばらくお待ちいただきたいと思えます。

それでは皆様、固い握手をお願いいたします。会場の皆様には、盛大な拍手をお願いいたします。

(拍手あり)

報道関係者の皆様、どうぞ前のほうで撮影をよろしくお願いいたします。

そろそろよろしいでしょうか。では、ありがとうございました。

それでは、須賀知事、市町村長の皆様は、ご自席へとお戻り下さいますように、お願いいたします。

それでは、9市町村を代表いたしまして、当協議会の会長でございます、森卓朗川内市長より、ごあいさつを申し上げます。

森卓朗会長

合併協定調印式を主催します、1市4町4村を代表いたしまして、一言ごあいさつを申し上げます。

本日は、公私ともにご多忙の中、須賀龍郎鹿児島県知事をはじめ、参議院議員、森山裕先生、地元選出の国会議員の秘書の方々、県議会議員の山本先生、鶴園先生、外園先生、福山先生等の多数のご来賓の皆様をお迎えし、また、関係市町村議会議員の皆様にもご臨席を賜り、合併協議会委員の皆様の立ち会いのもとに、川薩地区法定合併協議会の合併協定調印式を挙行できますことは、誠に喜びに堪えない次第であり、ここに深く御礼を申し上げます。

ご列席の皆様のご尽力、ご支援によりまして、ただいま須賀鹿児島県知事に特別立会人としてご署名をいただき、合併協定調印が無事終了いたしました。

本日の調印に至るまでには、様々な課題もありましたが、その都度、真剣かつ活発な論議を交わして、共通認識を築き上げ、克服してまいりました。調印により、合併協定項目の協議結果の確認が行われたこととなりますが、この合併協定書は、合併協議に関わった皆様の一致団結した取り組みと、郷土の将来の展望を、大局的見地に立ってのご判断の賜物であります。

先ほど説明のあった、これまでの経過を振り返ります時、一昨年10月から今日まで、基本4項目の協議開始から46項目、約4,000に上る事務事業の調整等、700回に及ぶ会議を開き、正しく総務省マニュアルどおり、1年半近くを要してまいりました。

これまでに寄せられました、住民の皆様からの多くのご意見、職員による一元化調整や新市まちづくり計画策定に注がれました膨大なエネルギー、そして本協議会における白熱した議論を思い起こします時、実に感慨深いものがあります。

全国的には、国、地方を通じた厳しい財政状況や、急速に進行する少子高齢化などの、地方自治体を取り巻く環境が大きく変化している中で、地方分権の一環として、自己決定、自己責任を軸とする、地方財政、地方制度の改革が進められていますが、住民説明会などにおける皆様からのご意見を承るたび、薩摩川内市全域の発展に対する、大きい期待を重く受けとめ、合併を契機として、より一層の住民福祉の向上に取り組みなければならないと、強く決意いたしているところであります。

本地区の特色としては、構成団体数が9市町村と、全国的に見ても多いこと、島嶼部、

甌島を含む合併協議として、本県のモデルケースとなり得ること、また、50年に一度と言われる合併議論と同時に、来月13日には県民待望の九州新幹線の開業があり、薩摩川内市における地区コミュニティの活性化と拠点都市としての一体的浮揚を予感させるものがあると考えております。

今後、各市町村、3月議会での合併関連議案の審議、6月県議会審議と、一連の法的手続きを経て、平成16年10月12日、薩摩川内市誕生となりますが、1市4町4村が一丸となって、万全の準備を行い、合併協定書に基づく各種施策の展開による地域力が奏でる、新しい都市力の創出の理念を活かした、薩摩川内市の実現につなげてまいりたいと考えております。

なお、本地区の合併協議では、鹿児島県から合併推進室を中心として、合併重点支援地域の指定による、多大なるご支援をいただいていることに、深く感謝を申し上げますとともに、今後の合併に至る法的手続き、合併後の各種施策にも、引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますよう、重ねてお願いを申し上げます。

終わりにになりましたが、関係市町村の議会議員、協議会委員、合併協議にご理解をいただきました住民の皆様、ご協力いただきましたまちづくりフォーラム委員の皆様、報道関係の皆様、厚く御礼を申し上げますとともに、膨大な事務調査を行ってきております1,400名の市町村職員、20名の事務局職員の並々ならぬ努力に対し、深く感謝の意を表し、労をねぎらいながら、川薩地区法定合併協議会9市町村の合併協定調印式のごあいさつといたします。平成16年2月19日。川薩地区法定合併協議会会長、森卓朗。

本日は誠にありがとうございました。

進行（川野眞司事務局次長）

ありがとうございました。

それでは、ここで本日の合併協定調印式にご臨席を賜りました、ご来賓の皆様をご紹介させていただきます。

まず本日、特別立会人としてご署名をいただきました、鹿児島県知事、須賀龍郎様でございます。

次に参議院議員、森山裕様でございます。

次に衆議院議員、松下忠洋様、代理として後援会事務局の青崎様でございます。

次に衆議院議員、宮路和明様、代理として下変後援会川内事務所長様でございます。

次に参議院議員、尾辻秀久様、代理として浜川事務所長様でございます。

次に参議院議員、加治屋義人様、代理として牛根事務所長様でございます。

次に鹿児島県議会議員、山元求之様でございます。

次に鹿児島県議会議員、鶴園真佐彦様でございます。

次に鹿児島県議会議員、福山秀光様でございます。

次に鹿児島県議会議員、外園勝蔵様でございます。

以上の皆様でございます。本日はご臨席を賜りまして、誠にありがとうございます。

それでは、ご来賓の皆様からのご祝辞を賜りたいと存じます。ご来賓の皆様、お1人お1人からご祝辞をいただきたいのでございますが、ご来賓の方からお2人の方にご祝辞を賜りたいと存じます。よろしく願いいたします。

まず鹿児島県知事、須賀龍郎様より、よろしく願いいたします。

須賀龍郎鹿児島県知事

皆様方、本日は誠におめでとうございます。

私から、一言、お祝いのごあいさつを申し上げます。

先ほど、平成16年10月の薩摩川内市発足に向けまして、合併協定書への署名、調印が滞りなく執り行われましたことに対しまして、心からお祝いを申し上げますとともに、これまでそれぞれの地域を代表されまして、充実した行財政基盤の構築や、質の高い行政サービスの維持、向上に加え、地域が一体となった振興を図っていくことを目指しまして、真剣な議論を重ねてこられました、関係の皆様のご努力に対しまして、深く敬意を表する次第でございます。

平成16年10月を目標とされております当地区の合併は、昭和42年の鹿児島市と谷山氏の合併以来でありまして、今後の各地域の合併のモデルとしても、大いに注目されているところであります。来月の九州新幹線の開業と併せまして、さらなる飛躍が期待されているところであります。

今後はこの合併を機に、当地区のまちづくり計画のテーマであります、「市民が創り 市民が育む 交流躍動都市」を目指しまして、合併して本当によかったと思えるようなまちづくりを実現していただきますよう、心から期待を申し上げます。

県といたしましても、新しい薩摩川内市の誕生に向けまして、できる限りの支援をしてまいりたいと考えております。

市町村合併という、長く歴史に残ります一大事業をなし遂げるまで、あと一步のところまでまいりました。皆様方の今後の一層のご尽力、ご努力を期待を申し上げます。

終わりに、当地区のますますのご発展と、本日もご臨席の皆様方のさらなるご健勝、ご多幸をお祈り申し上げまして、簡単ではございますが、お祝いのごあいさつとさせていただきます。本日は、誠におめでとうございます。

進行（川野眞司事務局次長）

ありがとうございました。

次に参議院議員、森山裕様に、よろしく願いいたします。

森山裕参議院議員

ご指名をいただきました、参議院議員の森山裕でございます。

ご承知のとおり、衆議院で予算審議が行われておりまして、松下先生、宮路先生、ご出席ができませんでした。参議院の尾辻先生も、加治屋先生も、よんどころのない所用のために、出席ができませんでした。ご理解をいただきたいと思います。

本日、4村4町1市による、川薩地区法定合併協議会の合併協定調印式が、須賀龍郎知事の特別立ち会いのもとに調印をされましたこと、まず心からお喜びを申し上げる次第であります。皆様、本日は誠にありがとうございました。

1市4町4村が合併協議を重ねていくということは、大変なことだったろうというふうに思いますし、関係者の皆さんのご努力に、心から敬意を表したいと思います。また、県の合併推進室のご協力にも、敬意を表したいと思います。

皆さん、今から1300年ほど前、奈良時代であります。律令体制のもとに、この地に薩摩の国の国府が設置をされました。南九州の政治・経済・文化の中心として、この地が役割を果たし、発展を遂げました。その地を中心として、鹿児島県で最も早く合併協定の調印が行われるということは、やはりこの土地が持っている素晴らしい風土なのかなというふうに、私は思っております。

我々は地方分権を急がなければなりません。そのためには、市町村の合併というのは避けて通れない問題であるということ、強く認識をしなければいけないと思います。

今、国会が開会中でありまして、今国会で合併特例法の改正をさせていただく予定であります。まず主な内容といたしましては、全国合併を進めてまいります中で、少し遠隔地にあたり、人口の少ない町村というのは、自分達の地域は大きな市町村に飲み込まれてしまうのではないかという不安があられることも事実でございますので、今回の合併特例法の改正の中で、合併をされた自治体ごとに法人格を持った区を作ることを法律は認めようとしています。そして市長さんが特別職の区長をご任命をいただいて、その区長さんを中心にして、旧自治体の中から評議会の委員を選出をいただいて、そこで自分達の地域のことについて、ご協議をいただく。その協議の結果については、市長や議会は配慮していくという規定を設けるという法律の改正を予定をしています。

合併というのは大きな事業でございますので、正直なところ、やってみなければ分からないこともたくさんあるんだろうと思います。我々はそのことに国政としてタイムリーな対応をしていかなければいけないと思っておりますし、率先をして合併をしてこられた地域が、我々は本当に先に決断をしてよかったなと思っただけのような制度、あるいは補助の体制のあり方についても、しっかりと考えていかなければならないと思っております。

また、県下一円を歩きますと、森山、どうしても合併をしなければいけないのかと問われます。私は合併は避けて通れないと思っておりますし、そうお話を申し上げます。

皆さんもご承知だと思いますが、今月末には第28次地方制度調査会を発足させることを政府は決めました。第28次地方制度調査会では、都道府県の問題を集中的に審議をしていただき、道州制度の問題について、ご協議をいただくという方針が決まりました。

また、今回の自治法の改正では、都道府県の合併を自主的にやっていただける法律の改正案も用意をされておりますので、市町村合併の次は、道州制をどう導入をしていくのか、その日程をどう国民の皆さんに示していくのか、その作業が今月末からはじまりますことも、ご承知をいただきたいと思います。

10月の12日、薩摩川内市の正式な発足まで時間がございませう。どうか今までの努力にさらに努力を重ねていただき、いい形で薩摩川内市が発足できますように、頑張りたいというふうに思います。

我々は先輩の国会議員の皆さんと一緒に、合併による問題が生じたら、スピーディな対応をしていくということをお約束を申し上げて、ごあいさつとさせていただきます。

ご案内をいただき、大変ありがとうございました。

進行（川野眞司事務局次長）

ありがとうございました。

ここで、本日の合併協定調印式に際しまして、祝電をいただいております。時間の都合上、お名前だけの紹介とさせていただきます。

参議院議員、森山裕様。衆議院議員、宮路和明様。参議院議員、尾辻秀久様。参議院議員、加治屋義人様。衆議院議員、川内博史様。参議院議員、南野知恵子様。

以上でございます。ありがとうございました。

本文につきましては、会場後方に掲示させていただいておりますので、会場の皆様には後ほどご覧下さるようお願いいたします。

皆様のお陰様を持ちまして、以上で調印式が終了となりました。

本日は、須賀鹿児島県知事をはじめ、多数の皆様に、ご多忙中にも関わりませう、調印式にご臨席を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

今後は、夢多き薩摩川内市誕生のために、本日もご出席いただきました皆様のより一層のご支援を切にお願い申し上げまして、本日の合併協定調印式を終了させていただきます。本日は誠にありがとうございました。

会議録署名

会議の経過を記載し、その内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

川薩地区法定合併協議会会長